



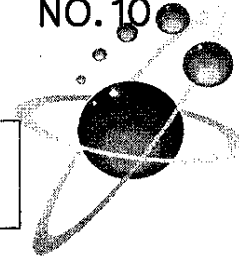
志を育む指導の推進
～「いかに生きるか」をキーワードにした全教育活動を通じた取組～

やる気スイッチ

秋田市立山王中学校
学習だより

H30.10.5

NO.10



通知表について

1 通知表とは

年に2回、前学期終業式と修了式の日通知表を配付します。

通知表は、その学期の学習や生活の状況、各種委員会や係活動等の記録、総合的な学習の時間の評価等を学校から家庭へ伝え、学校と家庭とが協力して生徒を育てていくために活用されるものです。また、ご家庭においては、通知表を通してお子さんを認め、励ましていただくとともに、お子さんの中学校生活の記録としてご活用くださいますようお願いいたします。

2 評価・評定について

(1) 学習の状況について

教科	評価の観点	前学期			
		A	B	C	評定
国語	国語に関心を持ち、進んで学習に取り組むこと	○			4
	自分の考えを大切にしたい目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりすること		○		
	必要な材料を基にして自分の考えをまとめて書くこと		○		
	文章の内容を的確に読み取ること	○			
	文法・語句・漢字などの言語に関する知識を身に付けていること	○			
社会	社会的事象に関心を持ち、意欲的に学習に取り組むこと		○		3
	社会的事象を多面的・多角的に考察し、的確に判断し、表現すること		○		
	資料を適切に収集、選択し、活用すること		○		
	社会的事象について理解し、基本的な知識を身に付けていること		○		

(2) 観点別の評価ABCと評定54321について

各教科の評価は、観点別学習状況の評価を基本とした目標に準拠した評価、いわゆる絶対評価です。目標に準拠した評価、絶対評価は、設定した目標に対し、どれだけその生徒が到達したかという到達度で評価するものです。他人との比較や集団全体の中での相対的な位置(順位)による相対評価とは異なります。他の生徒の学習の状況とは関係なく、その生徒自身の目標に照らし合わせ、学習状況の評価するものです。子どもたち一人一人が通知表に記載された各教科の観点をどこまで達成できているかを評価しています。

① 観点別評価 ABC

A	十分達成している
B	おおむね達成している
C	努力を要する

この評価をするために、各教科では評価の基準を設け、それにそって評価をしています。

第1学年社会科「資料を適切に収集、選択し活用すること」では、下記のような基準を設定しています。

- A…地域の生活の特徴を、写真や絵、雨温図など複数の資料を活用し、自然的条件と生活の工夫を結び付けて読み取りまとめることができる。
- B…地域の生活の特徴を、写真や絵などの資料から読み取ることができる。
- C…Bに達していない。資料から地域の生活の特徴を読み取ることができない。

②評定 54321

観点別評価によって、5段階評定をします。

評定	5	十分達成しており、特にその程度の高いもの
	4	十分達成している
	3	おおむね達成している
	2	努力を要する
	1	一層努力を要する

(3) 何を見て、評価しているか

先生方は、毎日の授業や学習活動全体を振り返り、その学習の目標に対し、生徒がどの程度理解したか、到達したかを評価しています。また、授業時の観察による評価やノートやワーク、問題集などの提出物の内容、実技テスト、まとめテスト、単元テスト、作品の出来映えの評価など、様々な評価資料を基に観点別評価をしています。

2、3年生の生徒と保護者の皆さんへ

今年度からは、分かりやすく5段階評定とします。観点別評価ABCによって、総合的に判断し、5段階を付けます。昨年度と比べると、8段階から5段階になったため、厳しい評価と感ずるかもしれません。通知表は配付されたら、通知表に記載された自分の評価、評定について、(2)①②にあるそれぞれの段階の示す意味をよく読み、成果や今後、努力すべきことについて明らかにしてほしいと思います。数字だけで一喜一憂せずに、評価、評定を通して自分を見つめ、今後どうしていくべきかを考えることが向上につながります。

3 通信欄について

「学校から家庭へ」

……担任から、数値等では表すことができないお子さんの姿について記述しています

「家庭から学校へ」

……お子さんのご家庭での学習や生活の様子、学校外で頑張っている姿などをお書きください。お子さんの記録として、ぜひよいところを書いてください。また、お子さんの学校生活について気になることや要望等ありましたら、ご記入ください。

4 提出について

通知表をご覧になりましたら、認印欄に押印して、後学期始業式の日、お子さんを通じて担任まで提出してください。

5 その他

通知表を見たら、励ましの言葉掛けをお願いします。

- 評定だけではなく、教科の中の観点別評価や生活・行動の状況、特別活動の状況などを見て、よいところ、得意なところをお子さんの姿に照らして考えてみてください。
- 考えていたより残念な評価がある場合は、お子さんも落ち込んでいたり、気にしていたりする場合もあります。むやみに怒っても効果はありません。今後どのようにしていったらいいのか、4月からの生活を一緒に振り返り、十分にお子さんの話を聞いてあげてください。